

7 教員長期研修（県立美術館派遣）

研修の概要

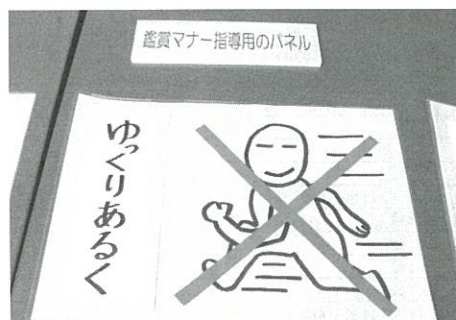
学校と美術館との連携を推進する方策のひとつとして教員長期研修生を昨年に引き続き受け入れた。この研修は県教育委員会義務教育主管課が所掌するもので、当館派遣では図画工作科、美術科及び総合的な学習の時間等全般を対象とする教育実践に役立つ課題を研修することを目的としている。

研修の実施に当たっては、各研修生がそれぞれの課題に沿って研修テーマを設定し、研修の具体的な内容や方法、日程等を計画して自主的に進める。当館としては研修をサポートするとともに、美術館諸事業への参加等の研修機会を提供した。

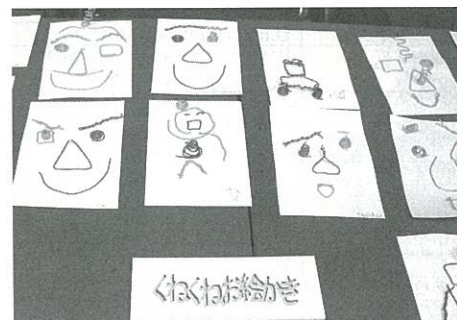
平成19年度は小学校教諭1名を研修期間半年間（4～9月）で受け入れた。研修終了後は教育現場での研修成果の検証・発展が期待される。

研修の実施状況

研修生氏名	山内 美穂
所属校	呉市立安登小学校
研修題目	児童の感じ方や見方を深める鑑賞指導の工夫 —学芸員と連携を図った美術館の利用を通して—
研修題目設定の理由	感想文の作成や意見発表など子どもたちが受身になりがちな、それまでの鑑賞指導への反省から、鑑賞対象や場の特性を活かし、他者との意見交流など子どもたちに主体的に作品と関わらせることにより、鑑賞活動を充実させ、表現方法に活かす指導方法を研究する。
研修内容	○「楽しく見る」「美術館での鑑賞」「学芸員との連携」をキーワードに、美術館に親しみ、美術館で効果的な作品鑑賞を行うための指導方法の考案・実施・検証 ○「対話型鑑賞法」「鑑賞の視点」「表現に生かす」をキーワードに、感じ方や見方を深める指導方法の考案・実施・検証 ○美術館諸事業への参加
研修日程	4月 研修題目の設定、研修計画の立案 4月～6月 鑑賞教育に関する資料の収集と文献研究 5月～6月 実態調査の実施およびその分析と考察 6月～7月 研究授業の実施およびその分析と考察 8月～9月 研修のまとめと研修報告書の作成 その他 美術館諸事業の体験・実習
研修の成果	○研修報告書 ・県立美術館所蔵作品を利用した教材開発（「鑑賞のしおり」） ・県立美術館所蔵作品を利用した学習指導案（「びじゅつかんへ行こうよ」「くねくねアート（モビール）」） ・実態調査の分析と考察（鑑賞教育による児童の変化、美術館に関する児童の意識）



検証授業「びじゅつかんへ行こうよ」のために作成された鑑賞マナーの表示案



検証授業「くねくねアート(モビール)」児童作品